

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	広報広聴会議		会議場所 第3委員会室
			担当職員 三宅・池永
日 時	平成25年3月6日(水曜日)	開 議	午後 1 時 30 分
		閉 議	午後 3 時 15 分
出席委員	菱田 ○山本 ○眞継 苗村 酒井 田中 小島 吉田 西村 木曾議長 竹田副議長		
出席理事者			
出席事務局	今西事務局長、藤村次長、阿久根係長、三宅、池永		
傍聴者	市民 名	報道関係者 名	議員 名

会 議 の 概 要

13:30

1 開議

<菱田委員長あいさつ>

2 部会の設置について

(1) 広報部会

組織(部会長、副部会長、委員)

(2) 広聴部会

組織(部会長、副部会長、委員)

<菱田委員長>

部会の組織について、正副委員長一任により協議した結果を報告する。

広報部会の部会長に山本副委員長を指名し、苗村委員、小島委員、西村委員で広報部会を構成することとする。

広聴部会の部会長に眞継副委員長を指名し、酒井委員、田中委員、吉田委員で広聴部会を構成することとする。当分、この人員構成により各部会を運営するとともに、相互に協力しながら会議を進めていきたい。

広報部会では議会だよりの編集を中心として、新たな広報活動にも取り組まれない。

広聴部会では議会報告会を中心として、新たな広聴活動にも取り組まれない。

広報と広聴は表裏一体であるので、部会に分かれながらも相互協力により、よりよい成果が得られるようよろしくお願いします。

本日が初めての協議であるので、まず木曾議長よりあいさつを願いたい。

<木曾議長>

広報広聴会議として一新した。広報広聴活動は議会活動の要となる。それぞれの部会の設置により、より効果的な活動を行えるよう期待しているので、よろしくお願いします。

3 当面の取り組み事項及び部会の分掌について

<菱田委員長>

議会報告会の次回開催及び前回の意見対応の整理並びに議会だより3月定例会号の編集について、まず早急に取り組む必要がある。まず、議会報告会について、眞継副委員長より議事を進めてもらうこととする。

(1) 議会報告会について

次回（３月定例会報告分）の開催日程及び会場について

< 眞継副委員長 >

前広報広聴特別委員会からの申し送りで、各自治会を１年で１巡となった。会場案は別紙のとおり。できるだけ同じ日に近隣で開催することのないよう、また、前回とは異なる定例会の報告を聞いていただけるよう配慮して組んだ。この案で進めていきたいが意見はあるか。

< 酒井委員 >

テーマ別や世代別の報告会はどうなったのか。

< 眞継副委員長 >

自治会をまわるのは最低限クリアすべきレベルのものであり、その上にテーマ別、世代別等の報告会がある。それは広聴部会で議論していきたい。他に意見はあるか。

- 意見なし -

< 眞継副委員長 >

この内容で進める。次回の３月定例会報告分の日程はどうか。常任委員会の視察もあるので、５月２３、２４、２７、２８日のうちの２日間でどうか。

< 苗村委員 >

今回から６箇所ずつになり、今までとは変わってくる。全員が揃わないといけないのか。

< 眞継副委員長 >

全議員が３会場に分かれて行くのに変わりはない。それが２日間になるだけである。この４日間を案として調整して良いか。 < 了 >

前回開催（２月２０・２１日開催）総括

・アンケート結果及び意見・要望等と回答について

- 眞継副委員長アンケート結果説明 -

< 田中委員 >

５ページに「分かりにくい理由」として、「平易な言葉をもっと使う。用語解説も必要」とある。これから注意していかなければならない。

< 眞継副委員長 >

議会だよりだけでなく報告会でも考慮すべき点である。

- 意見・要望等と回答 各自熟読 -

< 眞継副委員長 >

気になる点はあるか。

- 意見なし -

< 眞継副委員長 >

このままホームページに掲載し、所管に割り振ることで良いか。 < 了 >

今後の進め方について

・広聴部会に委ねる事項及び会議に諮る事項について

< 眞継副委員長 >

今後新たに検討すべきことなど、広聴部会として機能させていかなければならないことがある。現在見えている広聴部会の役割は、報告会回覧用のチラシの作成、各議員の会場への振り分け決定、当日のレジメ・開催次第の決定、報告会当日の市民向けアンケート内容検討、アンケート結果まとめ、意見・要望と回答のまとめ、等が主なものである。これらを広聴部会で検討し広報広聴会議に諮る、というスタイ

ルで今後進めて良いか。

< 酒井委員 >

広報部会が議会だより、広聴部会が議会報告会で、それ以外はいったん広報広聴会議全体でやり、どちらが担当するかを決めてから進めていくということか。

< 菱田委員長 >

広聴部会は従前から行っている報告会を、広報部会は議会だよりを中心に取り組む。これは前特別委員会からの引き継ぎ事項でもあり、従前通り取り組むべき事項である。世代間・テーマ毎の報告会や意見交換会等の取組みは、広聴部会である程度議論した後、広報広聴会議に提案し、皆の了承のもと取り組みを進めていきたい。広報部会についても、例えばフェイスブックをやろうということになったら、部会の中で検討し、広報広聴会議でどういうやり方ができるか議論して、場合によっては議運に諮るなどして進めていきたい。

< 酒井委員 >

広報と広聴でそれぞれ取り組むべき具体的なことはあると思うが、それ以前に全体をまとめる広報広聴戦略等を定め、それに基づいてやっていくのも有効である。そのような話が議会改革推進特別委員会が出たが、他のものと一緒になって詳しく検討しないまま終わってしまった。そのようなことも話し合っていければ良いと考える。

< 菱田委員長 >

正副委員長でも議論をし、今後皆で考えながら取り組んでいきたい。ただ、報告会や議会だよりは定期的に取り組まなければならないことであり、それをやりながら考えていかねばならない。

< 西村委員 >

3 常任委員会から副委員長が出てきている。普通の委員ではなく、何らかの役付けが必要なのは。

< 菱田委員長 >

テーマ別の意見交換会を行う際、中心になって常任委員会に繋いでもらう。議会だよりでも副委員長としての役割が求められることがある。常任委員会とのパイプ役をしてもらう位置づけで考えている。

< 西村委員 >

そのような位置づけであると了解した。

< 菱田委員長 >

その他に意見は。

- 意見なし -

< 眞継副委員長 >

先ほどの説明は最低限維持しなければならないラインの話であり、まずはそこを固め、あとは走りながら何を付け足していくのかということになる。そのことについては、皆の意見を聞きながら取り組んでいかなければならない。部会の進め方については、先ほど説明したような内容は部会に任せていただく形で進めて良いか。

< 了 >

< 眞継副委員長 >

従来のスタイルを基本的に踏襲しながら、市民からの意見をできるだけ聞くような配慮を行っていく。趣旨説明は開会挨拶に含め、意見交換を行う時間を確保する。次回は4月8日午後1時30分から広聴部会を開催する。

(2) 議会だより№156号(3月定例会号) の編集について

編集方針及び掲載内容について

- ・企画、全体構成について
(広報広聴特別委員会からの申し送り事項について(別紙))
- ・臨時会に係る掲載事項について
- ・各委員会の掲載事項について
- ・一般質問の掲載事項について
- ・議会報告会の掲載事項について
- ・市民の声について

< 山本副委員長 >

別紙、全体構成案により、編集方針及び全体構成について、協議していきたい。各掲載項目については、広報広聴特別委員会からの申し送り事項も合わせて確認する。

[規格]

< 山本副委員長 >

平成25年度も昨年度と同じ仕様で契約している。入札の結果、内藤印刷に決定している。了解願う。

[1 ページ (タイトル)]

< 山本副委員長 >

(申し送り事項の説明) 意見はないか。

< 西村委員 >

引き続き木曾議長でお世話になるので、タイトルの字はこのままでよいのでは。

< 了 >

[1 ページ (写真、見出し)]

< 山本副委員長 >

(申し送り事項の説明) 今回も発行時季にあった写真を選定したいと思うが、意見はないか。意見がなければ広報部会で検討する。また、トップ見出しについても3月定例会の内容により、今後広報部会で検討することとする。 < 了 >

[2 - 3 ページ]

< 山本副委員長 >

(申し送り事項の説明) 今回は臨時号を発行していないため、2ページには臨時会に係る内容及び新たな議会構成を掲載してはどうかと考える。副議長のあいさつや各会派の抱負なども掲載したいと思うがどうか。ただし、その場合、3ページに掲載している全議案の議決結果をすべて掲載することは困難となる。主な議案をピックアップして掲載することとしたいがどうか。

< 苗村委員 >

昨年はどうであったか。

< 事務局 >

これまでは、議案名を要約し全議案の議決結果を掲載することを確認してきた。3月定例会では、ほぼ1ページ分のスペースを占めることとなる。よって今回は賛否の状況及び主な議案の内容について掲載することを検討願いたい。

< 山本副委員長 >

広報部会で検討することでよいか。 < 了 >

[4 - 5 ページ]

< 山本副委員長 >

(申し送り事項の説明) 今回は、カラーページの活用として、前年と同様、当初予算審査について特集を組みたい。その場合、予算特別委員会に原稿を依頼したいと

思うがいかがか。＜了＞

[6 - 7 ページ]

< 山本副委員長 >

（申し送り事項の説明）今回も従前と同様に 3 常任委員会の活動報告を掲載してはどうか。委員には各常任委員会の副委員長が入っていることから、各常任委員会で中心となり、掲載事項の協議をお願いしたい。＜了＞

[8 - 9 ページ]

< 山本副委員長 >

（申し送り事項の説明）今回から 6 会派となったことにより、誌面の変更が伴う。カラーページの位置づけを含め、どのように取り扱うべきか。

< 吉田委員 >

今回は仕方がないので、1 ページ 3 会派分で 2 ページに収める方向でよいのでは。代表質問の方法については、今後議運で検討されるので、次回の定例会号で改めて協議することとなる。

< 山本副委員長 >

2 ページで 6 名分を掲載する場合をシミュレーションしたので提示する。このようなイメージとなる。また、議員写真の掲載についてはどう取り扱うか。

< 西村委員 >

手間であるが、今回の議場写真を掲載すべき。

< 山本副委員長 >

前回と同様、議場で写真撮影し掲載することとする。記事の内容については、本文 300 ～ 320 字程度の内容となり、個人質問と同様となる。よって代表質問でありながらも、質問項目は 1 項目程度となる。関連写真を掲載する場合は本文 200 字程度となるが、その方向で進めていきたい。＜了＞

[10 - 14 ページ]

< 山本副委員長 >

個人質問については前回同様、1 ページあたり 4 名分を掲載していきたい。ただしこれまで字が小さいことを課題としており、また今回の代表質問の掲載と関連し、質問項目を 1 項目で整理したいと思うがどうか。

< 西村委員 >

代表質問、個人質問とも質問項目数にこだわらず、質問議員の裁量に任せるべきである。

< 山本副委員長 >

今の意見についてどうであるか。

< 酒井委員 >

次回号以降の意見として、読者の興味をひかせるためには、各委員会の活動を充実すべきであり、個人質問のページを有効に使うべきである。一般質問については代表質問のみとし、個人質問のページには請願や陳情の内容を掲載するなど、議会をどのように活用してもらえるのか、また議会ではどのような議論がされているのかなど、個人質問とは別の方向で議論していきたい。

< 山本副委員長 >

そのことについては、広報広聴特別委員会でも意見があり議論してきた課題である。今回は協議する時間がないため、従来通りとするが、今後、引き続き議論していきたい。

< 山本副委員長 >

以上の意見から、代表質問、個人質問とも質問項目は従来通りの取り扱いとしたい。

<事務局>

個人質問のページは6段組みとしており、代表質問の5段組みに比べ、字が小さくなる。そのような状況で質問2項目を掲載する場合は、タイトルスペースの調整を要し、読みにくいレイアウトとなってしまう。質問項目を従来どおりとして、読みやすく改善する場合は、本文の字数をより少なくすることを確認されたい。

<山本副委員長>

議会報告会等では、いつも字が小さいと指摘されている。1項目とすることで、内容を具体的にかつ字を大きくすることができると思うがいかがか。

<西村委員>

文字が小さいことは改善を要する。字数の制限により整理すべきである。

<山本副委員長>

文章が短ければ、読みやすくなるとしても、訴えたい内容が何かわからないという意見も聞いている。

<田中委員>

一定の制限により、各議員に任せることとして、その議員の責任である旨の但し書きを加えることでよいのではないか。わかりやすい、わかりにくいというのも、その議員の責任に帰すべきである。選挙公報と同様である。

<苗村委員>

その方向でいけば、ますます読みにくくなる。本文の字を大きくすることで何文字以内なら適当なのか、決めておくべき。

<山本副委員長>

項目は従来どおり1～2項目とし、字を大きくすることにより、本文の文字数は何文字程度とすべきか、事務局の見解は。

<事務局>

代表質問の同様の文字サイズにすることを確認し、部会で検討することに委ねてもらう方向でどうか。

<山本副委員長>

部会で検討することでよいか。＜了＞

[14 ページ]

<山本副委員長>

(申し合わせ事項の説明)今回、議会報告会一巡による特集を組む場合、1ページの4分の3のスペースしか使えない。よって15ページに及んで掲載することも考えられるがいかがか。

それとも、従来通り3会場の意見交換を載せる方向でよいか。＜了＞

[15 ページ]

<山本副委員長>

これまで議会日誌、議員研修、視察の受け入れ状況等を掲載してきたが、もっと市民に関心の近い記事を載せるべきと考えている。それとも従来通りでよいか。

<酒井委員>

議会改革推進特別委員会では、請願、陳情パンフレットの必要を議論し実現したが、市民に周知されていない。議会の活用方法として、請願、陳情の方法や、過去の請願について、議会でどのように取り扱い、市民生活の役に立っているのか掲載すべきと考える。

<山本副委員長>

今の意見についていかがか。

< 苗村委員 >

請願の採択後、どのように市政が変わったのかを掲載すれば、より議会が身近なものに感じてもらえる。また、議会で焦点となった事項について、現在はどのようになっているのか、他市の議会だよりでは特集として掲載されているところもある。興味のあるコーナーとなると思われ、今後掲載していければと思う。

< 山本副委員長 >

これらの意見を踏まえ、このページの使い方を部会で検討することでよいか。

< 了 >

[16 ページ]

< 山本副委員長 >

(申し合わせ事項の説明) 「本会議を傍聴して」を今回以降、どのように取り扱うべきか意見を。

< 吉田委員 >

募集して掲載することができればよいが、現実的に困難と予想されるので、当面はこのまま会派の輪番で取り扱ってはどうか。

< 山本副委員長 >

それでは会派の輪番とし、今回は会派が分かれたのでこれまでの順をリセットし、緑風会に依頼することでどうか。 < 了 >

「議会報告会に参加して」は各会場で感想を聴取したので、従来通り掲載することとしたい。 < 了 >

今後6会場となることから、次回号以降の取り扱いを課題とする。

編集後記については、今回どのように取り扱うか。委員長でどうか。

< 西村委員 >

前月号も広報広聴特別委員長として菱田委員長が担当した。副委員長から回してもらったらよいのではないか。

< 山本副委員長 >

眞継副委員長と調整することとしたい。 < 了 >

< 苗村委員 >

編集後記は文章が長い。議会報告会の会場増による掲載量を見越して、より短くすべきではないか。詳しく書いてもそこまで読んでもらえない。

< 山本副委員長 >

検討する。また、今回新体制でスタートしたので広報広聴会議メンバーの写真を掲載してはどうかと思うがいかがか。

< 酒井委員 >

いらない。

< 西村委員 >

メンバーが変わり一新したので写真があったほうがわかりやすい。力をいれていくことのPRにもなる。

< 山本副委員長 >

スペースの調整により検討することとしたい。そのため、この会議の後、写真撮影を願いたい。 < 了 >

編集日程について

・全戸配布日：5月1日(水)(発行は4月30日(火))

- ・校了までのスケジュールについて（別紙）
- ・広報部会に委ねる事項及び会議に諮る事項について

[山本副委員長 別紙により説明]

< 山本委員 >

広報広聴会議により、議会だよりの全体構成や方針等を全体で協議したうえで、今後は広報部会に委ねてもらうこととされたい。そして、広報広聴会議として誌面の確認を行うため、最終校正の段階である4月19日に会議を開催してはどうかと考える。ただし、大幅な内容変更は行わないことを申し合わせたい。

< 西村委員 >

最終段階で会議を開くことに異議はないが、やはり変更等が生じる場合に大変であるので、その前の段階（4月8日）で事前に各委員に配付し、確認してもらうべきである。

< 山本副委員長 >

事務局の見解は。

< 事務局 >

4月8日の段階では、印刷業者にゲラ出稿する原稿による確認となる。

< 山本副委員長 >

それでは、ゲラ版で確認を行う段階ではどうか。

< 事務局 >

印刷業者と調整を要するが、ゲラ版を作成するためのギリギリのスケジュールで組んでいる。その中で新たにその確認を行うための段階を設けることは困難と思われる。よって、印刷業者に出版するレイアウト表等の原稿により確認いただくことでどうか協議願いたい。

< 山本副委員長 >

それでは、4月8日の時点で確認を願うこととしたい。 < 了 >

< 菱田委員長 >

4月8日は広報部会を開催し、出稿原稿の確認を行うこととされているが、それを広報広聴会議で行うことに変更することとしたい。

< 山本副委員長 >

会議を行うのではなく、出稿原稿を各委員に配付し、確認してもらう内容である。

< 西村委員 >

各委員の確認により、変更すべき箇所等があれば、19日の会議に間に合うように検討し、19日の会議ではスムーズに了解を得られることを意図するものである。

< 菱田委員長 >

それでは、4月8日は、出稿原稿を各委員に配付し対応願うこととする。よって、次回の会議開催は4月19日（金）10時からとし、議会だよりについては、その最終校正を行うこととする。 < 了 >

（3）その他の協議事項について

< 菱田委員長 >

当面は議会報告会及び議会だよりの編集の取り組みに集中する必要がある。あわせて各部会では新たに取り組むべき事項を協議し、次回の会議で提案することとしたい。

4 その他

（1）富山県南砺市議会（広報特別委員会）視察対応について

日時：平成25年4月24日（水）9：30～11：30（予定）

内容：議会だよりの編集について（委員との意見交換を希望）

<菱田委員長>

正副委員長及び広報部会で対応したい。広聴部会は時間が許す限り参加願いたい。

<了>

（2）次回の会議日程について

<菱田委員長>

次回の会議開催は4月19日（金）10時からとする。

なお、部会については、会議形式ではなくフリートーキング形式により、実質的な効果を図るために設置したものであり、会議の公開にはなじまないと考える。そうした観点から、部会については会議を原則非公開としたい。この広報広聴会議の開催については、公開の可否を確認しておきたい。

<酒井委員>

全体の会議は公開すべきと考えるが。

<菱田委員長>

反対の意見がなければ、広報広聴会議は原則公開とし、各部会についてはその性質上、原則非公開とする。<了>

この際、他に意見はないか。

<苗村委員>

議会報告会の当日の意見交換の内容により、緊急に対応すべき問題をどのように取り扱っていくのか確認しておきたい。次回の会議による協議を待てない場合もあり、臨機応変的な対応が必要な場合がある。

<菱田委員長>

西別院会場では、市立病院についての意見があり、病院事業管理者に伝える旨の回答をして、後日その経過を病院側に伝えたところ、病院事業管理者から直接意見を述べた方に説明をされ了解を得た経過があった。今後、このようにすぐに改善すべきことについての取り扱いを協議しておくべきである。基本的には当日の会場出席議員で対応する方向でどうかと思うが。

<酒井委員>

参加者からの意見では、執行部の対応を要するものと議会として議論すべきものがあるが、執行部の対応を要する意見をこの会議で整理するのは少し違うと思う。意見の種類分けにより対応を検討してはどうか。

<苗村委員>

何でもかんでも広報広聴会議で整理するのではなく、出席した議員が直接聞いているので、出席議員の中で対応を検討すべきである。改めて議論した方が良い。

<菱田委員長>

今後、自治会を2巡することにより、前回の課題について対応を求められることも想定される。臨機応変に対応できるものや持ち帰って協議を要するものなど仕分けていく必要もある。意見対応の取り扱いについては、改めて議論し一定整理していきたい。

～ 15：15